

令和5年度 日野中央高等特別支援学校 体育・健康プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- ① グランドデザインに基づいた教育活動を展開し、本校にかかわる全ての人にとって優しく、分かりやすい学校を目指します。
 - 一人ひとりの生徒に寄り添い、「やろうとする、やれた!」と実感できる支援・指導を重ねることで、自己有用感、自己肯定感を高め、
 - 自分の言葉で語ることを通して人とかわり、自分を整え、自分で決めながら学校生活を送る経験を重ねます。
 - 生徒指導、相談支援を充実し、誰もが安心して、豊かな学校生活が送れるようにします。
 - 入学者選抜、進路指導の充実を図ります。
- ② 教職員が相互に連携して、組織的な学校運営をします。
 - 新学習指導要領を見据え、グランドデザインに基づく教育活動を展開し、その取り組みを共有します。
 - 企業、地域との連携を推進し、社会に開かれた教育課程を創造します。

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	保健安全指導部 特別活動指導部	〇日々確かに暮らすことを重ねる中で、働くこと、つながることを大切にする態度が身に付くよう支援する。	① 自立した生活を支える基盤的能力である運動習慣・生活習慣を意識するように支援する。 ② 生涯にわたってスポーツを楽しむ態度を育成する。 ③ 自己の存在を肯定的に受け止め自他の生、性に対する理解を深め、望ましい人間関係を築く態度や能力を育成する。

2 体育健康に関する実態把握

<児童生徒の体育・健康面の姿>

- 身体計測の結果、身長・体重は市平均とほぼ同じ。一人で多くの虫歯がある生徒は、未処置率が高い傾向がある。
- 休日等は家でゲームやパソコンをしている生徒が多く、運動不足の傾向がある。
- 保健室の利用状況は、内科的・外科的な理由での来室よりも、相談やクールダウンなどの精神的な理由での来室が多い。

3 体育・健康に関する具体的取組

<体育・健康に関する指導の目標・方針>

- 各種の運動を適切に行うことによって健康な身体を育てるとともに、強い意志を養い、体力の向上を図る。
- 心身の発達や心の健康及び健康と生活について理解し、健康を保持増進できる能力を身に付ける。

各教科等

《体育科・保健体育科での取組》・保健体育科では各単元の実践を通して運動に親しむ習慣を付け、健康の保持増進と体力の向上を図る。また、各競技のルールや規則を守る意志を養う。

《他教科での取組》・職業では、作業の実践を通して、長時間の作業ができる体力を培う。・家庭科では、実際の食材を用いて食教育を行い、よりよい食生活を心がける契機とする。

特別の教科道徳・特別活動・総合的な探究

・学習指導部と教科等会が連携し、身辺自立、男女の身体と生理、社会生活、人権尊重等に関する授業の計画をたて、実践する。

・生徒保健委員会で、歯磨き、睡眠などの基本的な生活習慣の調査を一定期間行い、実態を把握し、よりよい生活習慣に改善する。

課外活動

- 学校保健委員会にて健康の保持増進に関わるテーマを取り上げ、その能力を身に付ける。
- 各クラスの日直を毎朝保健室に呼び、健康チェックをする。・運動部活動を推進する。

<体育・健康に関する指導の目標・方針>

令和5年度 日野中央高等特別支援学校 体力向上1校1実践運動

- 《名称》 体育行事の充実 《ねらい》 運動の機会の確保
- 《内容》 体育的行事を行うことにより運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。
- (行事例) 前期：体育祭 後期：全校球技大会 ●指 標：行事後の振り返り